

ルミナスボーダー AC

- このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
- この取付説明書の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。内容を良くご理解いただき、本書の内容(指示)にしたがってください。

施工を始める前に

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は一般住宅の一階相当分施工用です。それ以外の場所への取付けはしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないように施工してください。熱排気による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 正しく施工・組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。
- 本製品は、転落防止の機能はありません。転落防止柵や手すりとして使用しないでください。
- 製品に衝撃を与えないでください。破損や故障の原因となります。

⚠ 施工上のご注意

- モルタルまたはコンクリートには、塩分を含む砂(海砂)および塩素系やアルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤・凝固防止剤・急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は、非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご利用ください。
- 柱ピッチは2,000mm以内にしてください。また、柱の高さと通り芯は確実に合わせるように注意してください。
- 柱とボード(板材)ジョイント部の間隔は、100～300mm以内に施工してください。
- モルタルやコンクリートの養生時間を十分に確保してください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いしてください。
- ブロック施工する場合は、重量ブロック JIS A5406 区分 16(C 種) 以上で施工してください。
- H1200mm 超はブロック上への施工はできません。
- 電動ドライバーを使用する場合は、トルクを「弱」にして締め付けすぎないようにしてください。
- ガラス面等からの日光の反射でボード(板材)表面に熱があたる場合は、表面異常が発生するおそれがあります。
- アルミ材等の小口や製品の切り口には切断面のバリが残ります。取扱いには十分に気を付けてください。


お手入れ方法

- 汚れは、柔らかい布・スポンジなどで水洗いをしてください。金属製ブラシなどの使用は避けてください。
- 水洗いで取れない汚れは、中性洗剤を薄めて柔らかい布などを使って洗い落してください。洗剤使用後は、十分に水洗いを行い、乾いた布等で水分を拭き取ってください。



1 梱包明細表	2
2 基本寸法	3~4
3 ルミナスボーダー AC の施工	5
【1】 ボード下穴位置 (柱)	5
【2】 直継手と小口キャップの取付け	5
【3】 ボード下穴位置 (切詰め時の直継手・小口キャップ用)	5
【4】 柱とボード (板材) 1 段目の施工	6
【5】 ボード (板材) 2 段目以降の施工	7
保証書	8

1 梱包明細表

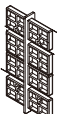
【1】 ボード

呼 称	略 図	員 数	
		2 枚入	3 枚入
標準ボード (120×12×1998mm)		1	1


【2】 アルミ柱

呼 称	略 図	員 数
T- 8 柱 (45×36mm)		1
T-10 柱 (45×36mm)		1
T-12 柱 (45×36mm)		1
T-15 柱 (75×75mm)		1
T-18 柱 (75×75mm)		1
T-20 柱 (75×75mm)		1
T-24 柱 (75×75mm)		1

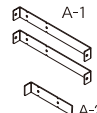
【3】 直継手

呼 称	略 図	員 数	
		2 個入	3 個入
直継手	 ねじ入り φ3.5×8mm トラスタッピング 1種 SUS304	1 ねじ 9 個	1 ねじ 14 個


【4】 小口キャップ

呼 称	略 図	員 数	
		2 個入	3 個入
小口キャップ	 ねじ入り φ3.5×8mm トラスタッピング 1種 SUS304	1 ねじ 4 個	1 ねじ 6 個


【5】 施工補助金具 A (ボード目地 10mm 施工補助兼穴開け治具)

呼 称	略 図	員 数
施工補助金具 A-1	 A-1 10mm シャフト 4 個入り A-2	2
施工補助金具 A-2		1
取付・取扱説明書		1


【6】 施工補助金具 B (75 角柱独立基礎施工補助治具)

呼 称	略 図	員 数
施工補助金具 B	 10mm シャフト 1 個入り	1

【7】 施工補助金具 C (45×36 柱ブロック施工補助治具)

呼 称	略 図	員 数
施工補助金具 C	 10mm シャフト 1 個入り	1

【8】 専用ねじ

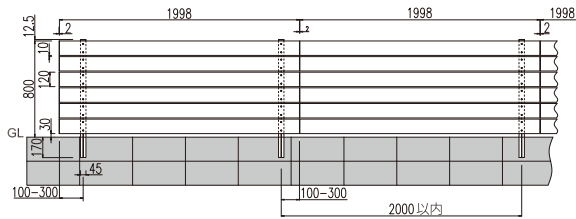
呼 称	略 図	員 数
専用ねじ (φ4.2×38mm なべドリルねじ)		30

2

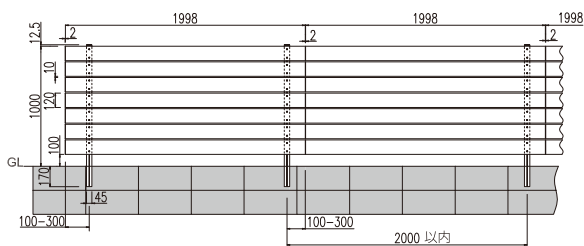
基本寸法

■コンクリートブロック基礎施工用(自在柱仕様)

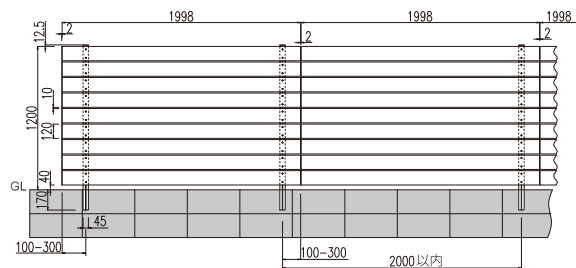
■T-8(6段貼)



■T-10(7段貼)

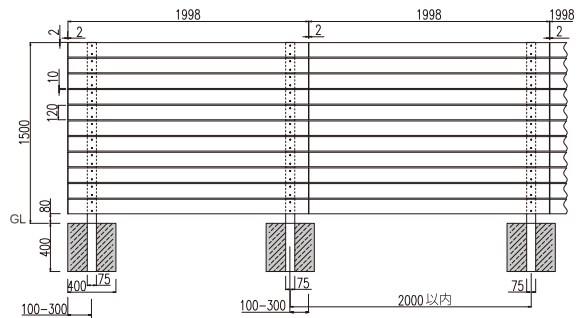


■T-12(9段貼)

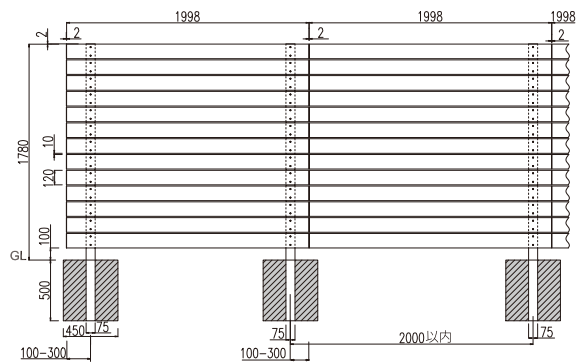


■独立基礎施工用(自在柱仕様)

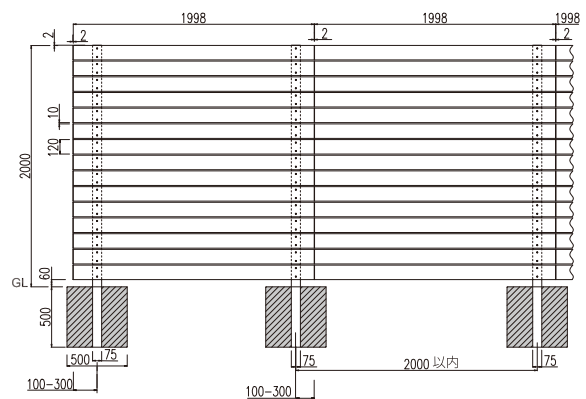
■T-15(11段貼)



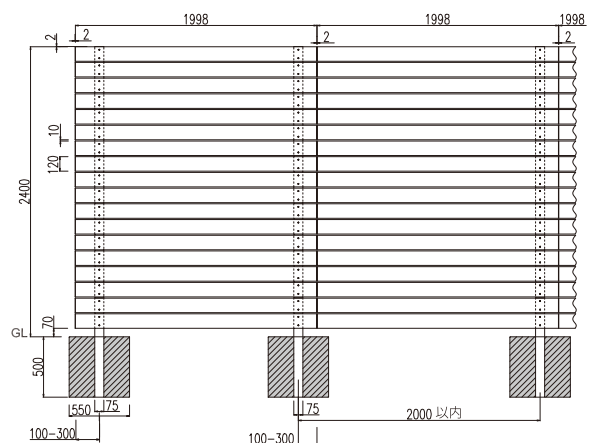
■T-18(13段貼)



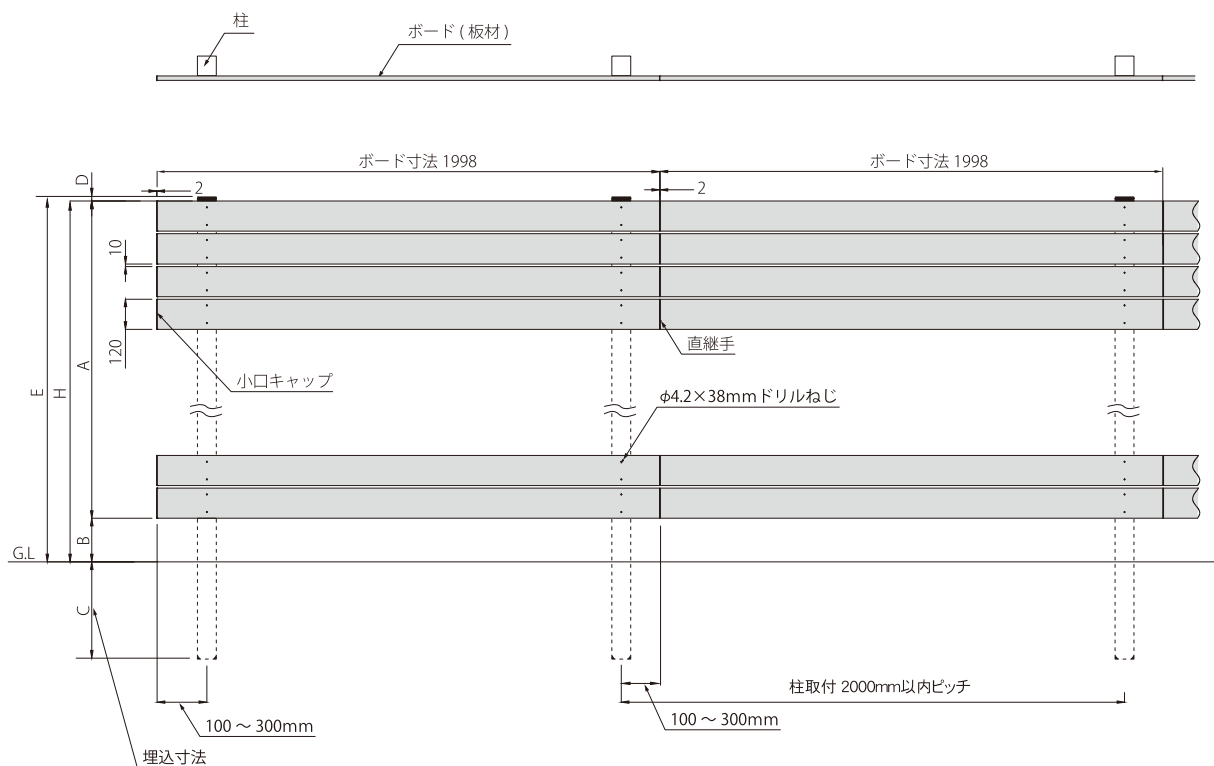
■T-20(15段貼)



■T-24(18段貼)



基本寸法



(単位 : mm)

呼称	アルミ柱角数	高さ H	ボード高さ A	B	柱埋込寸法 C	D	E	基礎寸法
T-8	W45×D36	800	770	30	170	12.5	812.5	コンクリートブロック基礎
T-10	W45×D36	1000	900	100	170	12.5	1012.5	コンクリートブロック基礎
T-12	W45×D36	1200	1160	40	170	12.5	1212.5	コンクリートブロック基礎
T-15	W75×D75	1500	1420	80	400	2	1502	W400×D400×H400
T-18	W75×D75	1780	1700	100	500	2	1782	W450×D450×H500
T-20	W75×D75	2000	1940	60	500	2	2002	W500×D500×H500
T-24	W75×D75	2410	2330	80	500	2	2412	W550×D550×H500

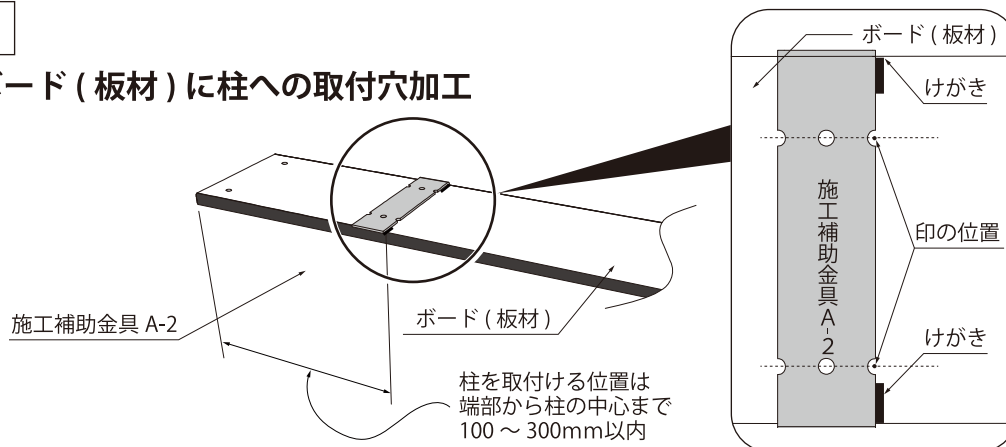
注 1) 柱とボード (板材) ジョイント部の間隔は 100 ~ 300mm 以内に施工してください。

注 2) 柱取付けピッチは 2000mm 以内にしてください。

3 ルミナスボーダー AC の施工

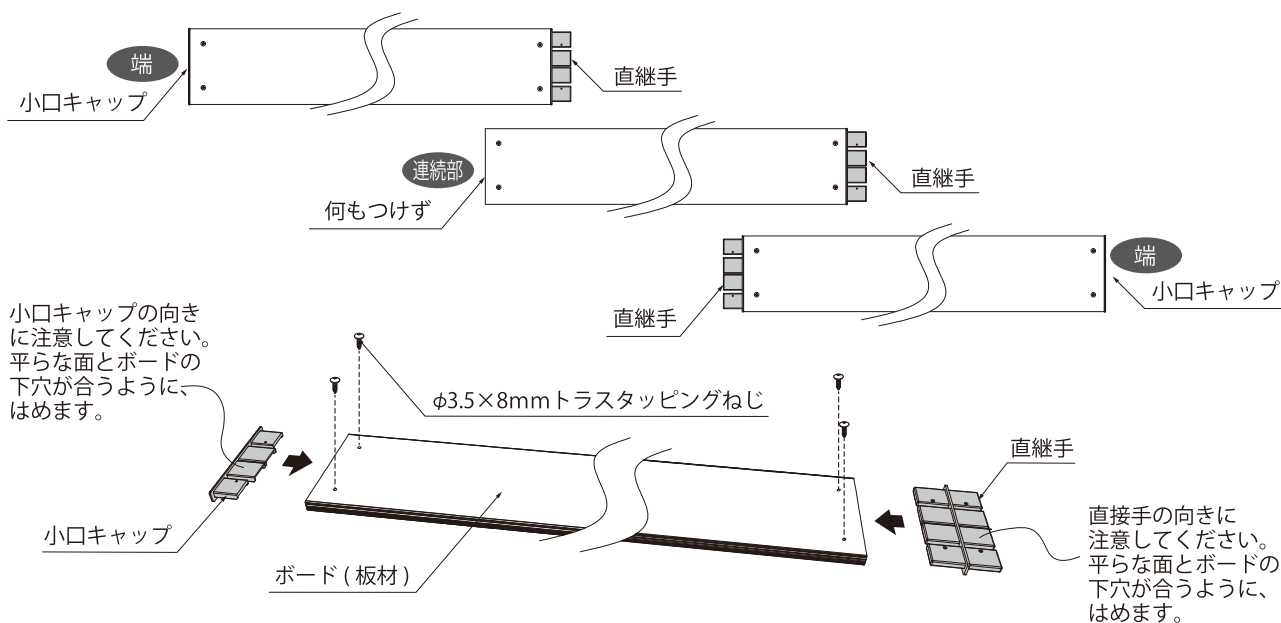
下準備

【1】ボード（板材）に柱への取付穴加工



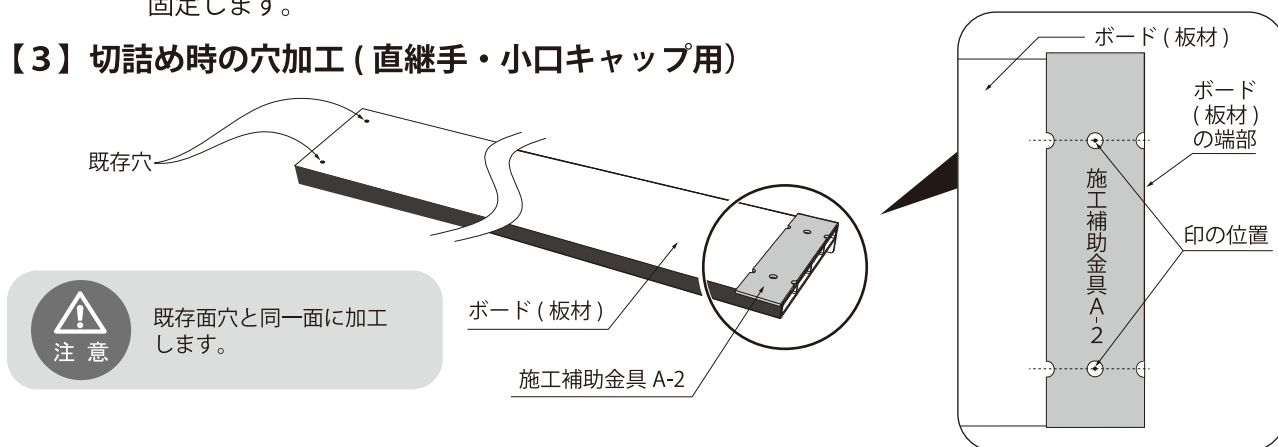
- ①施工補助金具 A-2 で上図のように穴位置を決めます。（既存穴と同面に加工）
- ②φ5mmの貫通穴を開けます。

【2】直継手と小口キャップの取付け



- ①ボード（板材）に直継手及び小口キャップをφ3.5×8mmトラスタッピングねじで固定します。

【3】切詰め時の穴加工（直継手・小口キャップ用）



- ①施工補助金具 A-2 で上図のように穴位置を決めます。（既存穴と同面に加工）
- ②φ5mmの穴を開けます。（上面のみ、貫通不可）

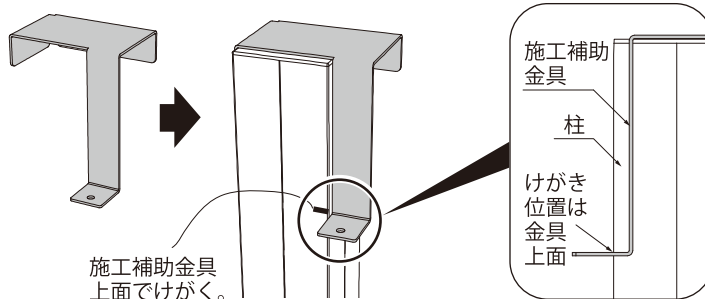
施工

【4】柱とボード(板材)1段目の施工

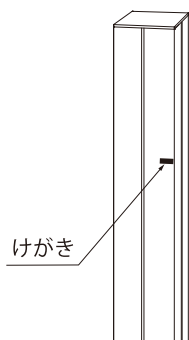


小口キャップや直継手等をボード(板材)にねじ止めする際、障害物等で施工できない場合、ねじ止めできる面で、ねじ止めをしてください。

- ①ボード(板材)をねじ止めする位置を出すため、スタートの柱に施工補助金具を設置し施工補助金具の上図の部分にけがきを入れます。

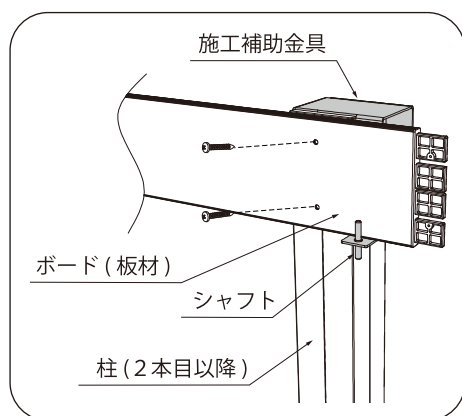
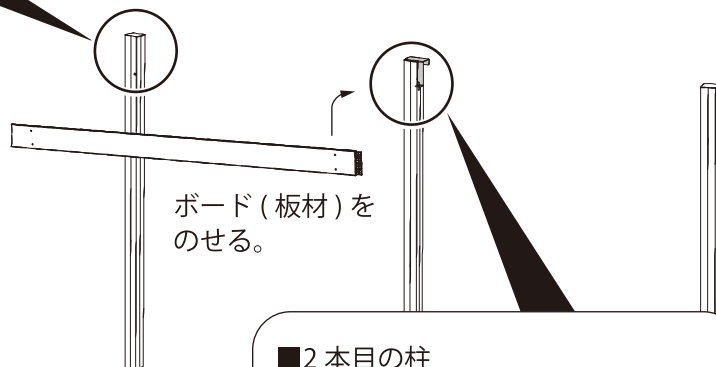


■1本目の柱

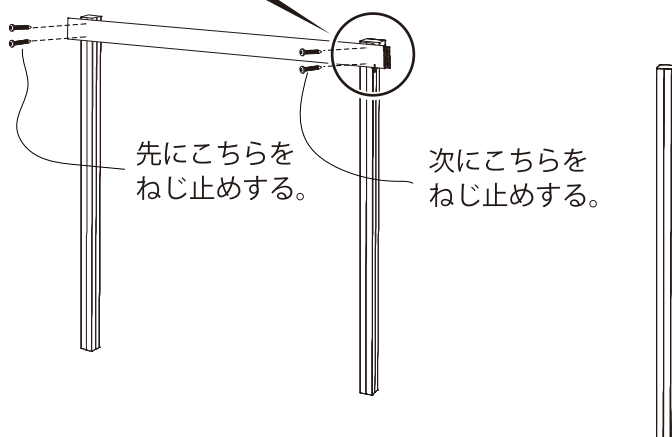


- 75角柱は「施工補助金具B」を使用します。
- 45×36角柱は「施工補助金具C」を使用します。

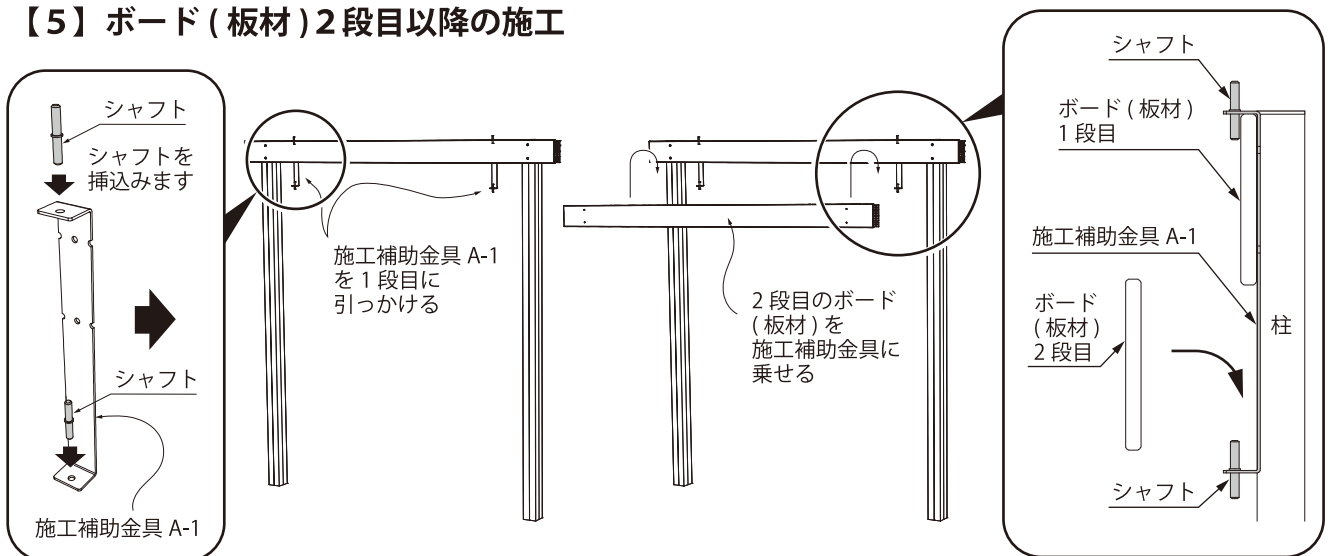
- ②施工補助金具を2本目の柱に設置し、シャフトを差込み、ボード(板材)を乗せボード(板材)が落ちないようにします。



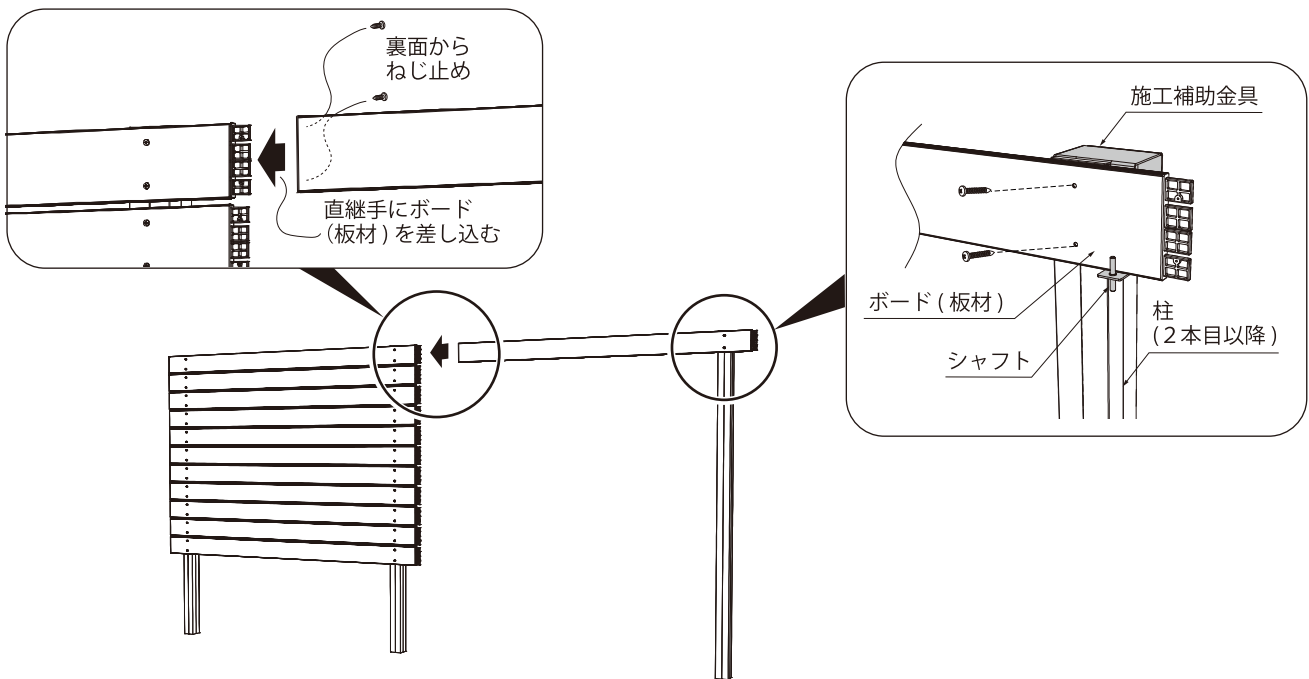
- ③1段目のボード(板材)を1本目の柱にけがいた部分にボード(板材)の下部を合わせ、水平を確認し、ねじ止めします。その後、施工補助金具に乗っているボード(板材)の方の2本目の柱にねじ止めします。



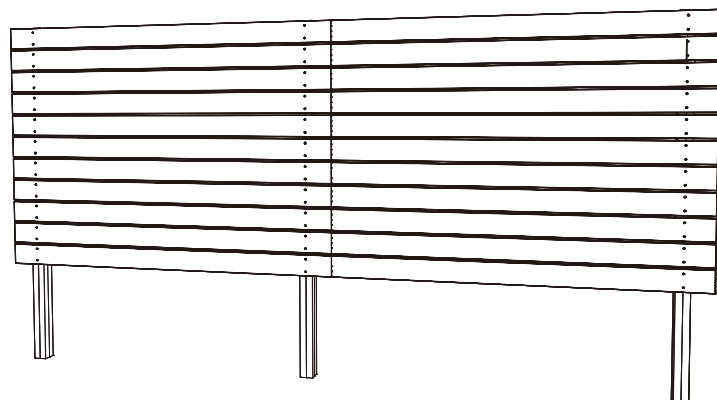
【5】ボード（板材）2段目以降の施工



- ① 施工補助金具 A-1 の上下に附属のシャフトを挿込み、1 段目のボード（板材）に設置します。2 段目のボード（板材）を施工補助金具 A-1 に乗せ、柱にねじ止めします。
 ※ 施工補助金具 A-1 のボード目地寸法は 10mm です。



- ② 1 本目と 2 本目の柱にボード（板材）を下まで取付けたら、同様に施工補助金具 A-1 を設置し、ボード（板材）を施工します。



- ③ 同様にボード（板材）を施工し、完成。

ルミナスボーダー AC 保証書

保証期間	対象商品	期間（お引渡しより起算）
	本 体	2ヶ年
お引渡し日	年 月 日	
お客様	ご住所	
	お名前	様
	TEL	

- 本書は本製品に関し、ここに記載の保証期間・保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に損傷などの不具合が発生した場合には、お買い上げいただきました販売店・工務店にご連絡ください。
- 詳細は下記記載内容をご参照ください。
- お引渡し日・お客様名・施工店名および LOT NO. が不明の場合は保証しがねますので、施工店に必要事項の記入をご依頼ください。
- 本書は再発行を致しませんので大切に保管してください。

施工店	所在地	(印)
	名 称	
	TEL	

〒260-0013
千葉県千葉市中央区中央1-11-1
製造元 **旭興進株式会社** 千葉中央ツインビル1号館8F

■保証者
旭興進株式会社

■保証の対象者
本製品の所有者

■対象商品
ルミナスボーダー AC 本体及び関連商品

■保証内容
取扱説明書、本書の「保管運搬の注意」「施工上の注意」に基づく適正な保管状態・使用状態で、保証期間内に商品に不具合が発生するには、右記に例示する免責事項を除き、無料修理もしくは部材交換をいたします。

■保証期間
取扱説明書の施工完了日（お引渡し日）から起算して2年間。
※新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引き渡し日。

■品質保証の免責事項

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
- ①当社の手配によらない第三者の加工・組立・施工・管理・メンテナンスなどに起因する不具合が発生した場合。
 - ②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所にご利用になられた場合。
 - ③建築躯体の変形など商品以外に起因する不具合。
 - ④商品の経年変化（使用における消耗・摩耗など）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴うサビ・カビその他の不具合。
 - ⑤商品周辺の自然環境・住環境・ご利用環境下に起因する結露や商品劣化。
 - ⑥天災その他の不可抗力（暴風・暴雨・雪害・高潮・地震・落雷・洪水地盤沈下・火災など）による不具合またはこれにより製品の性能を上回る性能が必要とされた場合。
 - ⑦実用化されている商品では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
 - ⑧動物や鳥・植物などに起因する不具合。
 - ⑨お客様自身の組立・取付・修理・改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
 - ⑩本来の使用目的以外とは異なった用途に使用された場合の不具合。
 - ⑪犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。
 - ⑫商品の構成の一部でも、当社が供給したものの以外の不具合。
 - ⑬保証書に取付け年月日・お客様名・販売店名の記入の無い場合、あるいは改造された保証書などの場合。

販売店名

販売日（お引渡し日） 年 月 日

製造元 **旭興進株式会社** 20240401